

編集・発行：北海道中国帰国者支援・交流センター  
〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目1番地  
北海道社会福祉総合センター

(かでの2・7) 3階

TEL : 011-252-3411 / FAX : 011-252-3412

E-mail : Hokkaidocenter@dosityakyo.or.jp

URL : http://www.hokkaido-sien-center.jp/

活動報告

※しらかば=白樺/берёза



# しらかば

## 救急講座 (日本語<医療>学習コース)

2008年10月6日、日本語学習(医療)コースの受講生を対象に救急講習が行われました。

心肺蘇生法、A E D 使用法、気道異物除去等の勉強をしました。

受講生、松本香さんの感想：「救急講座を受講して」



私は、救急法・心肺蘇生法・A E D 使用法の講習を受けた後、あらためて救急法の重要性を深く感じました。

健康は、現代人が生活をする上で、重大な話題です。生活や就労などにも密接な関係があり、時代の発展につ

れて、生活リズムが加速し、仕事などいろいろな面で、様々な圧力を受け、飲食や生活習慣の変化に、健康に危

害をおびやかす。また、病気の発症年齢を繰り下げています。

人々の命と健康を守るために、病人の苦痛を減らすため、重態になった人を救うため、皆ある程度の救急知

識を身につけなければなりません。緊急時にできるかぎりの努力をして、助けなければなりません。

たとえば、意識をうしなった人を発見したとき、そばに他の人がいない緊急時などに、まず救急車を頼む。



## サハリン帰国者交流会

2008年10月26日、毎年恒例となった、サハリン帰国者交流会が行われました。

今回は初めて旭川在住の帰国者も参加し、数年ぶりの再会を喜び、盛大に盛り上がりました。



中国・樺太等帰国者支援ボランティア研修会「まなびや」

2008年11月30日、平成20年度中国樺太等帰国者支援ボランティア研修会「まなびや」が行われました。

2回目となる今回は江別市で開催。講師に中国帰国者定着促進センター・小林悦夫教務部長を招いての基調講演、中国帰国者・垣本久美子さんの体験談等の内容で、35名もの参加がありました。



日中友好新年交流会〈共催〉

2009年2月1日、日中友好新年交流会が行われました。

会場には中国帰国者やボランティア、地域住民など総勢250名近くの方が集まり、賑やかに新年を祝いました。最後にみんなで秧歌を踊り楽しみました。



活動日誌2009年1月～3月

- 2月1日 日中友好新年交流会〈共催〉
- 2月16日 第2回「家庭料理教室」
- 2月22日 日本語コース授業最終日
- 2月23日 健康講座
- 3月9日 ボーリング大会〈通所受講生対象〉
- 3月22日 第5回「DVD上映会」(日本映画)



日本語教室伝言板

4月から新学期が始まります！

日本語学習は、基礎コース(日本語初級①・②・③、中級①)と専門コース(医療、働く人のための日本語、日本語能力試験対策)等にわかれ、自分に合うコースで無理なく学習することができます。



編集後記

節分も過ぎ、ようやく2009年になったんだと実感している私ですが、皆さんはいかがでしょう(笑)。4月以降の交流活動も皆さんが楽しみ、そして、ためになるものを計画しております。日本語授業そして交流活動に、沢山の申し込みをお待ちしております！ (坪谷)

